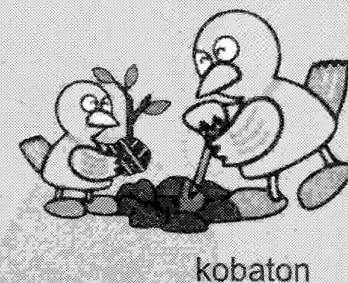


埼玉県からのお願いです。

あなたの庭に木を植えてください！



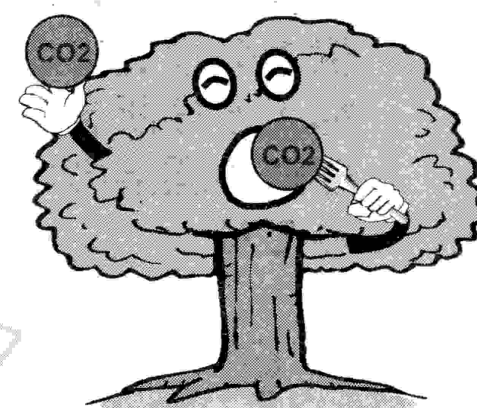
潤いと癒しを与えてくれる木々をもっと増やしたい。
 街に森をつくって埼玉の魅力をもっともっと大きくしたい。
 そのために県では1人1本植樹運動を進めています。

メリット1

二酸化炭素を吸収してくれます

- 木々は光合成により二酸化炭素を吸収し地球温暖化の防止に重要な役割を果たしています。

ブナなどの天然林では、年間で1haあたり14人分の排出量にあたる約4,600kgものCO₂を吸収しています。



※人間1人が呼吸により排出するCO₂(二酸化炭素)は年間約320kg。
 出典：林野庁資料

メリット2

快適な環境を形成し省エネにつながります

- 木々は蒸散作用や木陰の効果により気温を下げ、ヒートアイランド現象を緩和するなど快適な環境を創ってくれます。

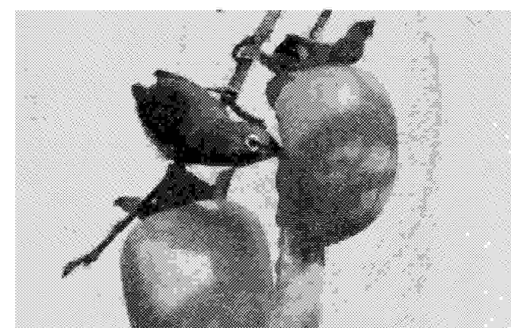
※環境省によれば、緑の多い皇居外苑では平成19年8月の観測で、周辺市街地よりも最大2.8°Cも気温が低いことが確認されています。



メリット3

都市における生物多様性に寄与します

- 実のなる木や蝶などが集まる木々を植えることで、様々な虫や鳥などと共存できる都市環境を創ってくれます。



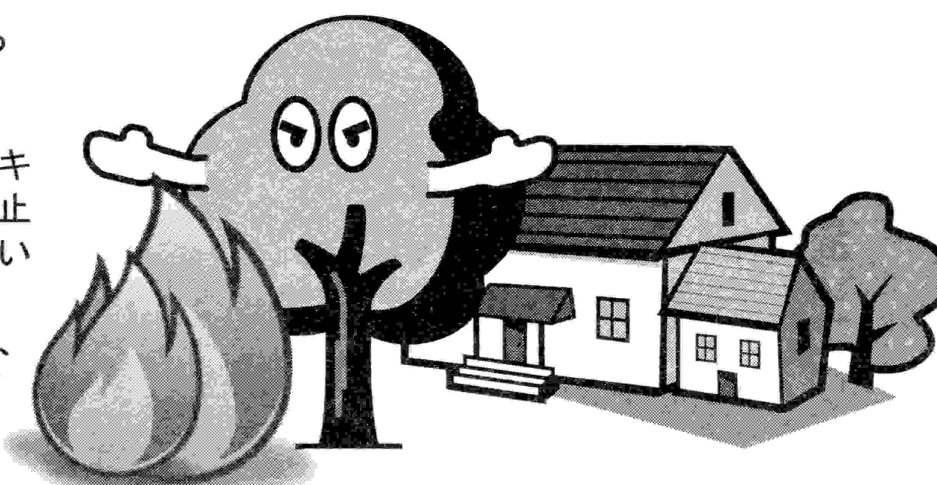
メリット4

災害に強い街づくりに役立ちます

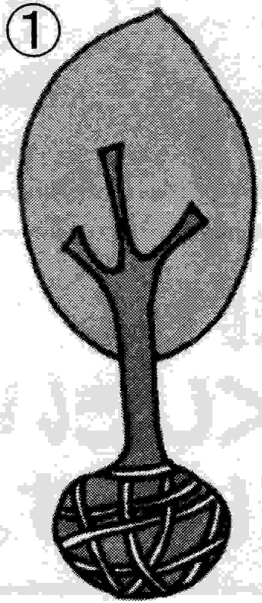
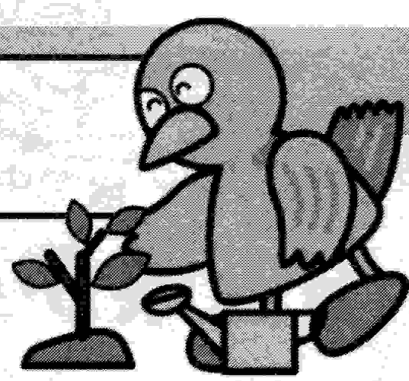
- 木々は火災に伴う熱や火の粉から家を守り、延焼を防いでくれます。

※阪神・淡路大震災においてクスノキなどの常緑広葉樹は、火災の延焼防止機能を有していることが確認されています。

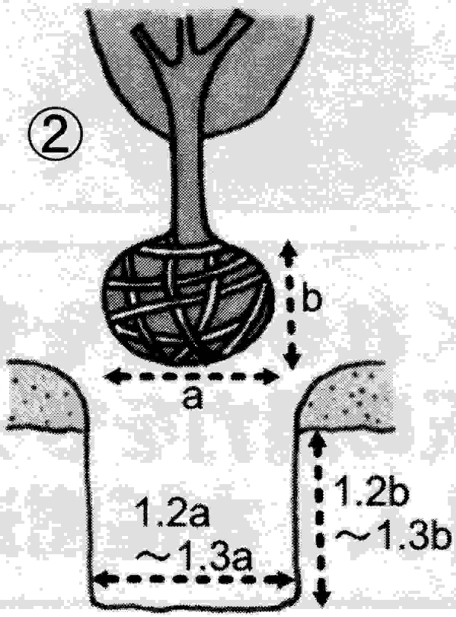
隣家との境に植えるには、マサキ、サザンカ、スタジイ、シラカシ、クスノキなどの、葉が厚い常緑の樹木が適しています。



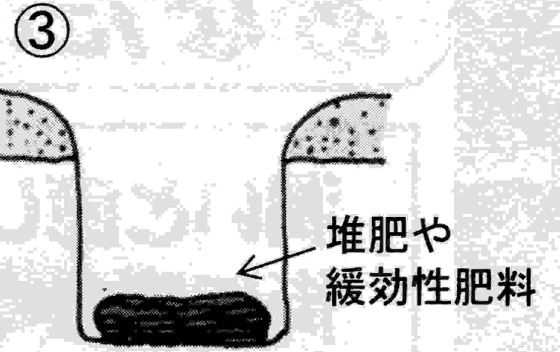
植えてみましょう！！



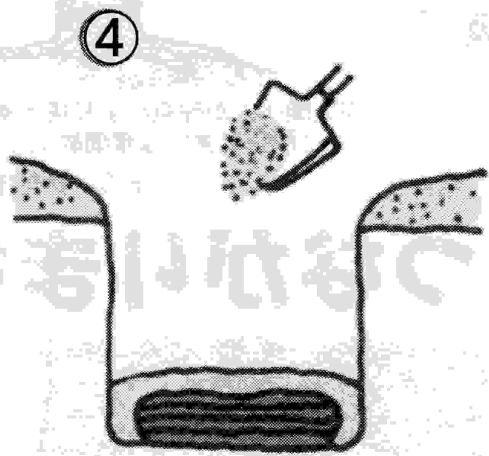
① 日当たりや水はけなど樹木の性質に合わせて植える場所を決めよう
図鑑や園芸の本で調べてみてね



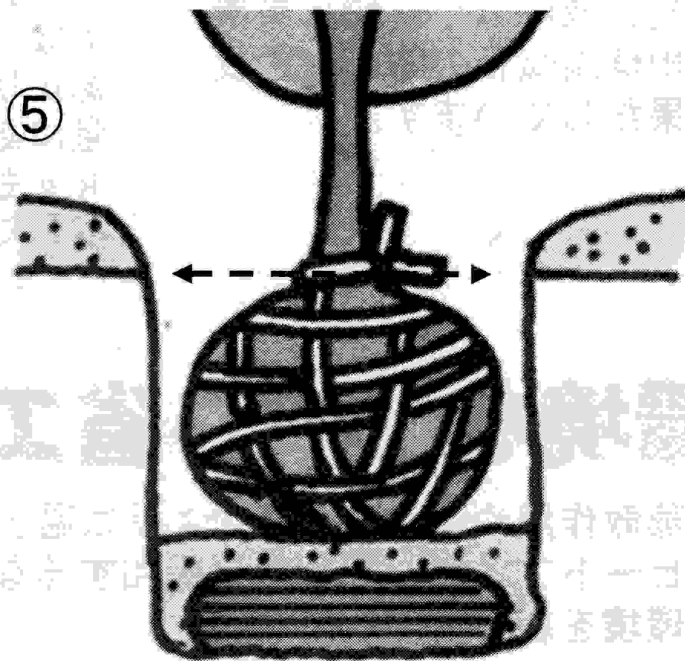
② 穴の直径と深さは、根の部分より2~3割くらい大きく掘ります



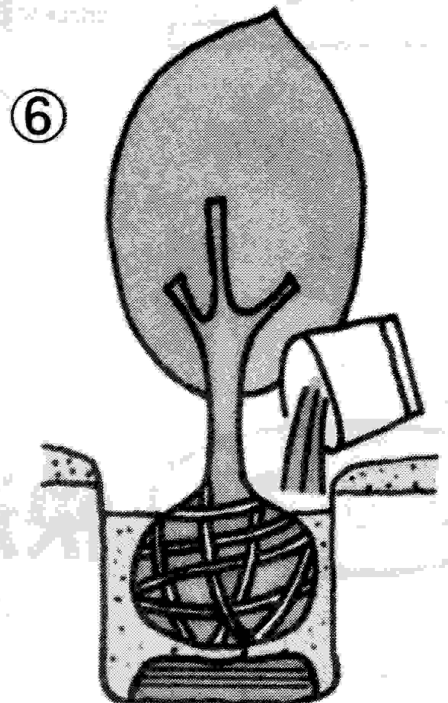
③ 穴の底に堆肥を入れます
緩効性肥料をぱらぱらとまいてもいいでしょう



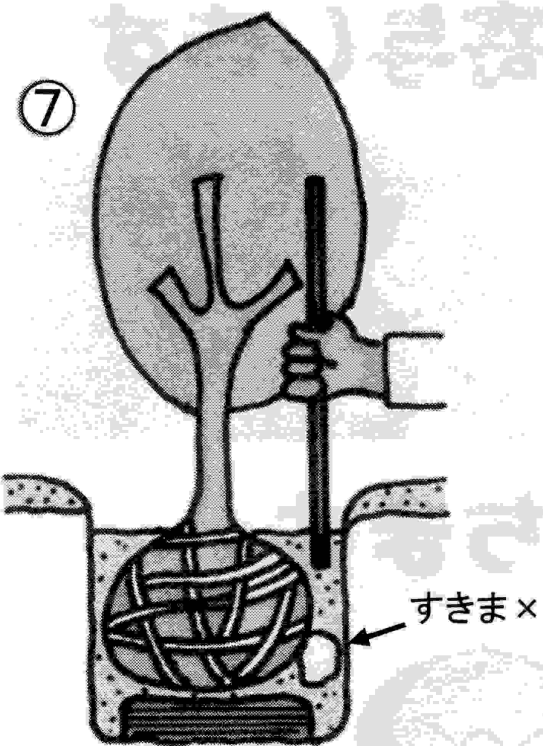
④ 堆肥などが見えなくなるまで土を埋め戻します



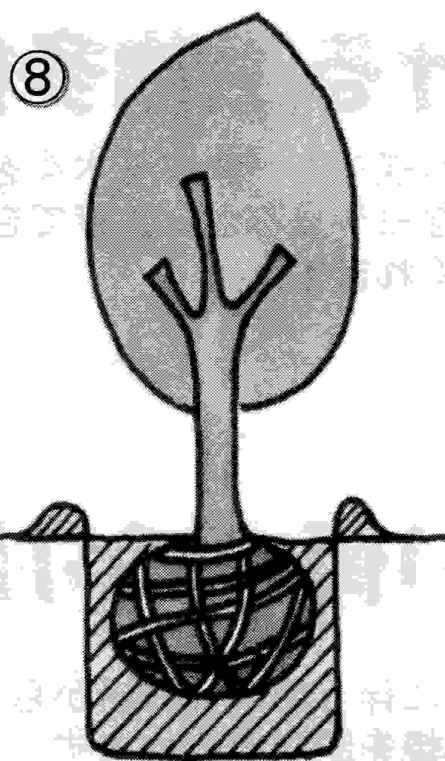
⑤ 根の上部が地面と同じ高さか少し低い程度になるようにします



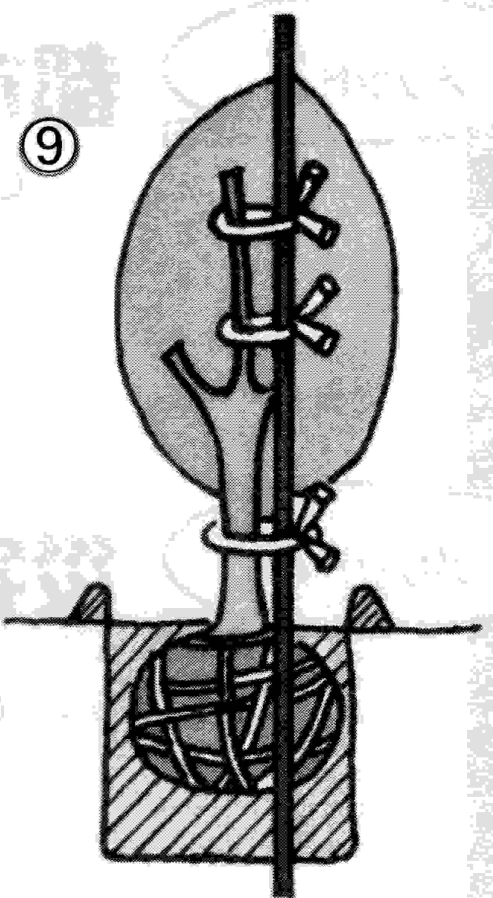
⑥ 根の周りに穴の三分の二くらい軽く土をかけ、水をたっぷりかけます



⑦ 木を左右にゆらしたり、棒について、根の周りに土が行きわたるようにします



⑧ 根の上まで土をかけたなら穴の外側に土を集めて丸く土手を作ります
雨水がうまくしみこむようにするためです



⑨ 最後に支柱をします
つつじ等の低木はいりません